2025年度　第6回10月期定例番組審議会議事録

１．開催の日時　　2025年10月8日（水）

２．開催の場所　　栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。

３．委員の出席　　委員総数９名
返信総数３名
出席総数６名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	若井明香
	委員	高橋久夫
	委員	小川俊彦
	委員	井出智子
	委員	北條俊明
	委員	白石智子
	委員	桐生典夫

４．議　　題

（１）「ジャズ倶楽部」　毎週日曜日　23：00～24：00放送中
視聴番組　放送日　2025.7.6
10月秋改編後　再放送　毎週月曜日昼12：30～13：30

（２）その他
秋番組改編について
AM休止発表後の状況について

５．議事内容

（１）「ジャズ倶楽部」について

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

「ジャズの街」として知られる栃木県宇都宮市。その地元が生んだ本格的なジャズ番組として、20 年あまり続く長寿番組です。名盤ジャズアルバムをたっぷり取り上げる「アルバムピックアップ」と、気ままにジャズのナンバーを紹介する「ランダムセレクション」の 2 つのコーナーからなり、1900 年代から 2000 年代のジャズ（草創期のジャズ～現代ジャズまであらゆるジャンル）をジャズファンにお届けしています。また毎月最初の日曜はインタビューコーナーを設け、老舗ジャズ専門誌「ジャズ批評」編集部から情報を伝えてもらったり、注目のアーティストにゲスト出演してもらったりと、最新のジャズもお伝えしています。

今後の番組展開として、「ジャズの街」として、21 世紀に残るジャズの名盤・名曲を今後も歴史に残すべく放送していきます。また、radiko 聴取率も高い時間帯ですので、栃木県内のジャズイベントに連動した特集なども企画し、街の PR に繋げていきます。秋の大幅改編後、人気番組ということで月曜日お昼 12 時 30 分から再放送枠で放送中。

ナレーション：栃木放送アナウンサー　鈴木景子

各委員からは

〇案内の声が落ち着いていてジャズの雰囲気にも合っており、とても聴きやすかったです。曲紹介からソニー・クラークの解説、再び曲へとつながる流れも自然で、世界観に引き込まれました。全体的にリラックスできる内容でしたが、やや覚醒感のある曲調もあり、日曜放送であれば放送時間がもう少し早くても良いかと思いました。電話インタビューでは栃木県に関する話題があり親しみを感じましたが、音質が少し悪く雑音が気になりました。せっかくの貴重なお話なので、良い音で聴けるとより一層世界観が保たれたと思います。

〇ジャズについて調べたところ、即興演奏（アドリブ）という特徴があり、演奏者がその場で自由に音を創り出す音楽だと知り、実際に聴いてみて納得しました。普段自分が聴くジャンルではありませんが、その自由さや雰囲気を感じ取ることができました。特に夜の時間帯にお酒を飲みながら聴くのが似合う音楽だと思います。最後に流れた曲は、これまで聴いたものよりもリズミカルで印象的でした。放送時間が夜 23 時というのも雰囲気には合っていますが、曲によってはテンポが上がり、眠れなくなる人もいるかもしれません。好きな人にはたまらない内容で、評価が難しい番組だと感じました。

〇日曜の 23 時スタートという時間帯にぴったりの、落ち着いた雰囲気の番組だと感じました。音楽が主軸で、明るい曲や暗い曲、テンポの速い曲やゆったりした曲など、バランスの取れた選曲が印象的でした。1 曲ごとの演奏時間が長めで、読書や作業をしながらリラックスして聴ける点も魅力的でした。イヤホンで聴いても音がクリアで、楽器の音色が美しく響いていました。パーソナリティーの落ち着いた進行も心地よく、深夜に合っていたと思います。ただ、曲や演奏者の紹介がもう少しあると、初心者にも理解しやすく、より楽しめる内容になると感じました。全体的にジャズ上級者向けの印象で、普段自分では選ばない曲に出会える新鮮さがありました。

〇自分はこの番組の昼の再放送には反対です。昼にこの内容を聴く人は少なく、結局は高齢層が中心になると思います。マーケティング的に見ると、60～70 代なら昼間に時間があるかもしれませんが、一般的には夜の方が合っていると感じます。ラジオは“ながら聴き”ができる点でテレビより向いていますが、放送時間はもう少し早めても良いかもしれません。自分の若い頃、ジャズはどちらかといえば不良が聴く音楽という印象で、真面目な人はあまり聴いていませんでした。そんな中でも、今では立派になった人も多く、当時のジャズへの熱中ぶりを思い出すと懐かしく感じます。

〇FM のきれいな音で良質な音楽をたっぷり聴けて、とても楽しい時間でした。自分はジャズに詳しくないので、もう少し解説や知識を補う部分があると初心者にも入りやすくなると感じました。コアなファン向けの番組であることは理解していますが、入口を少し広げるような構成があると良いと思います。たとえば、落語の世界で「笑点」が入門のきっかけになるように、ジャズにもそうした導きがあるとより楽しめるはずです。実際に生のジャズを聴いた経験がない人も多いと思うので、昼の放送としては親しみやすい内容が望ましいです。また、前半と後半で雰囲気の差が大きく、前半はしっとりしていたのに後半で急に盛り上がった点が少し気になりました。

〇宇都宮が「ジャズの街」として発信するにふさわしい、玄人好みで安定感のある番組だと感じました。前半はナレーションによる案内とともにじっくりと曲を聴かせ、後半はミュージシャンへのインタビューから曲紹介へとつなぐ構成で、全体の流れもとても良かったです。前半と後半で曲調の変化があり、その対比も楽しめました。特に後半の少しポップな雰囲気が印象的でかっこよかったです。放送時間帯が深夜というのもジャズにぴったり合っていました。あえて言えば、前後半の雰囲気のギャップが気になる人もいるかもしれません。日曜よりも金曜や土曜の深夜の方が合うという意見もあると思いますが、全体として非常に完成度の高い番組でした。地域との連携を模索しながら、今後さらに発展していくことを期待します。

〇皆さんの意見と同じく、この番組は深夜の時間帯にぴったりで、落ち着いてジャズを堪能できるとても良い内容だと感じました。初めて聴きましたが、ジャズ好きにはたまらない番組だと思います。今回は、ブルーノートにも所属していたソニー・クラークの楽曲と、鈴木良雄さんの特集が組まれており、異なる味わいの演奏が対比的でメリハリがありました。演奏全体で約 40 分とたっぷり聴けて、非常に充実した構成でした。今後は、どの年齢層がどの程度聴いているかを分析し、番組づくりに活かせると良いと思います。鈴木良雄さんのようなミュージシャンを取り上げることで、若い世代にも興味を持ってもらえるのではないでしょうか。お酒を飲みながら聴きたい落ち着いた雰囲気で、昼の再放送には少し合わないかもしれませんが、夜には最適な番組だと感じました。

〇番組紹介にもある通り、栃木放送で唯一のジャズ番組として、ジャズ好きにはたまらない内容だと感じました。オープニングから終わりまでジャズがたっぷり流れ、曲紹介を挟みながら 1 時間じっくり楽しめるシンプルで完成度の高い構成でした。深夜放送ということもあり、幅広い層ではなく、コアなファンを明確にターゲットにしている番組だと思います。鈴木アナウンサーの落ち着いた声も番組の雰囲気や音楽とよく合っていて、非常に聴き心地が良かったです。お昼の再放送については最初は意外に感じましたが、実際に聴いてみると家事をしながらでも自然に耳に入ってきて、BGM としても心地よく流せる内容だと感じました。

〇さすが 20 年続く長寿番組だと感じました。無駄な要素がなく、音楽そのものをじっくり堪能できる構成で、とても完成度の高い番組だと思います。こうした構成は他の音楽ジャンルにも参考になると感じました。今後の展開にも期待しており、ぜひ計画通りに発展させてほしいと思います。また、これまでの 20 年間で聴取率がどのように推移しているかを明確にすることで、今後の方向性を考えるうえでの指針になると思います。私の知り合いにもこの番組を毎回楽しみにしている方が複数おり、深夜に起きてでも聴いているほど熱心なリスナーがいることを実感しました。今後はそのようなリスナー層を大切にしながら、データ分析を踏まえて次のステップへ進めると良いと思います。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

（２）その他

秋番組改編について

AM 休止発表後の状況について

上記の２点について報道制作局長から報告をした。

６．審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

７，番組審議会の意見の概要の公表

① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（２０２５年１０月２６日）

② 当社のホームページに掲載（２０２５年１０月２７日）

③ 当社事務局に議事録備え置き（２０２５年１０月２７日～）

以上